



二葉幼稚園

# 2024年 園のたより 12月



12月の聖句

さあ、ベツレヘムへ行こう。

ルカによる福音書2章15節

12月のさんびか

かみさまのおやくそく

幼児さんびか 27

## 共に喜び



ふたばこフェスタが終わったあと、あるお母さんが「子ども達が一生懸命競争している姿もそれはそれで胸を打つけれど、こんな風にみんなができる場所で参加するっていう運動会の形があるんだなあって、何だかいいなあって思いました。」と穏やかな表情で話してくださいました。

先日は年長児が子ども達の手で準備したお店屋さんごっこを開催。コロナ禍では3学期に分散実施でしたが、4年ぶりに全員で。各々のアイデアで、園で、自宅で、作った品物を一堂に集めると…おもちゃ屋さん、アクセサリー屋さん、ブランド物屋さん、食物屋さん、お菓子屋さん、葡萄や苺狩りもできる果物屋さん等。「いらっしゃいませ〜」「おすすめはこちら」「これ(紙相撲)は何ですか?」と尋ねると店員3人揃って「わからな〜い」と顔見合わせ…。「もしかしてこうやって(台を叩いて)遊ぶんじゃない?」お客様の提案に3人又顔見合わせ笑顔。頭に電球がピカリン!の瞬間。すぐさま遊び始める店員さん達。トンチンカンなやりとりも微笑ましい。「見て!! いっぱい売れた! お金ほら!」の店もあれば「中々お客さんきてくれない」としょんぼりする姿もあり、「きつと来てくれるよ!」励まし合って元気を取り戻し、声の限りに店員を楽しむ年長さんでした。

小さなお客さんにはちょっと腰をかがめて「どれがいいの? これ? こっち?」と優しく相手を気遣う姿、お買い上げが決まるとびきりの笑顔で商品を渡し「ありがとう」とタッチをする、頭をなでる、手を振り合う姿が見られ、年中少の年長への憧れ、今迄の交流の温もりを感じました。

お買い物にきた年中さん。去年は緊張して動きもしずしず。中々品物を選ぶのに時間を要した子ども達が一人で「これください!」とやり取りを楽しみ、モジモジしている友達には一緒に勇気を出して「『これ欲しい』って言うてみたら?」と背中にそっと手を添えてみたり、やっぱり今年も3つしか買えない中で「おかあさん」やご家族へのプレゼントをじっくり選ぶ姿がとても印象的でした。

お買い物を終え、満足して早々に踊り場でくつろぐ年少さん。一人がおいそうにぺろぺろなめる(真似)手元にはチョコバナナ! 「あ! 僕も買った!」「私も〜」と大人気。絵本バッグから一つずつ商品を出し「これはママに。これは〇ちゃんに」と互いに見せ合い誇らし気。午後には年少保育室から「いらっしゃいませ〜」と早速新たな店開き。嬉しい体験はすぐに繋がり、喜びの追体験へ。

子ども達の日常を見ているとふと以前どこかで聴いた詩を思い出します。

「一つの言葉でけんかして 一つの言葉で仲直り  
一つの言葉で頭が下がり 一つの言葉で笑い合い 一つの言葉で泣かされる  
一つの言葉はそれぞれに 一つの心をもっている」

毎年、聖誕劇も年少は年少の、年中長は年中長の緊張や喜び、感動が礼拝堂を包みます。大人からすればたった「ひとこと」の台詞かもしれませんが、その配役やひとことに掛ける想いや葛藤、緊張は計り知れず、会衆も先生達もみんなで創り上げ、捧げる聖誕劇の一言の言の葉に魂が宿り、子ども達それぞれの歩みとひかりが重なり、深い喜びとともに熱い思いが込み上げます。

神様の一人子、救い主として生まれたイエスさま。私達は誰もが強いようで弱く、時として弱さを抱えながらも強く、心に暗闇を抱えながら生きています。ともすれば自分だけが、という思いにとらわれ、周囲が見えなくなることもあります。命を頂いて今生かされていることに感謝し、神様の前に自らを顧みると、どれほど支えられてきたことかと思わずにはおれません。大切な子ども達と過ごせる日々を謙虚な思いをもって、ともに喜び、歩んでいきたいです。2024年も感謝の日々でした。【園長】